

# 子育てひろば便り 臨時号

2023年05月23日  
子育てひろばサポーター部会

## 2022年度「子育てひろばサポーター研修会」開催しました

生活クラブ生協大阪の「子育てひろば」は誰でもが立ち寄り、  
ほっこりできる居場所です。

「子育てひろば」で活動しているサポーターの学びと親睦を深めるために  
「子育てひろばサポーター研修会」を

2023年2月28日(火)に、ドーンセンターにて開催しました。

今回の研修会は子育てひろばのサポーターだけでなくエッコロ委員会のメンバーにも  
交流を深めるため参加のお声掛けをしました。

参加者は20名

サポーター10名、理事1名、エッコロ委員2名、  
託児リーダー2名、よりみちスタッフ4名、組合員1人  
でした。

それぞれの活動に繋がっていただけたらと思います。

### 【参加者の感想です】

- ・ほっこりと安心できるひろばの存在が子育てには必要だと再認識した。
- ・相手を受け入れることは難しく迷うこともあるが正解のないことで悩み続けることが大事なのだと思った。
- ・どの世代にもあてはまる内容で考えるヒント、実践したいことにつながりました
- ・とも育ちのことがよくわかりました。
- ・実際にやってみてワーク1は理解が深まり、新聞紙遊びはたのしさがよく分かった
- ・研修会を継続して開催してほしい。

### 【ワークや遊びの実演を交えた参加型の研修会の様子を報告いたします】

◇はじめに

参加者全員が円になって着席し、他己紹介（他の方が紹介する）からスタートしました。自分のことを他人が紹介するというやり方に、場が和みました。



◇ひろばクイズ

「子育てひろばサポーターの心得」に沿ったクイズの答え合わせと解説をしました。  
現在活動しているサポーターも活動するときの心得が再確認できたひろばクイズでした

## ◇ワーク1

参加者全員が、2つの場面で子どもと親の役を交互に実演しそれぞれがどう思うかを、考えました。子どもの人権を認めること、子どもを対等の人として接することを学びました。

場面①親が「早く行くよ」と子どもを連れて行く  
手首をつかむ



手を繋ぐ



場面②親が子ども叱る  
(椅子の上に) 立って 座って



## ◇アイスブレイク

新聞紙を使った色々な遊びを紹介し、その中から新聞紙ツリーを作成し、じゃんけんゲーム（負けた人は新聞紙を半分にしていける。足がはみ出た人が負け）で遊びました。

新聞紙ツリー作成



じゃんけんゲーム



## ◇ワーク2

- ・母乳に関する新聞記事の事例について、ママの気持ちやサポーターだったらどうするか、3グループに分かれて意見を出し合い、グループごとに意見を発表しました。
- ・自分とは意見の違う人を受け入れることの難しさや大切さを学び、寄り添うことを考えました。正解のない答えにくい難しい問いでしたが、皆で意見を出し合うことに意味があったと思います。

## ◇子育てひろばサポーターから、活動していて良かった事、嬉しかった事紹介

- ・若いお母さんやさまざまな幼い子と触れ合えて子どもさんの成長が見られること、ママの笑顔を見られることが嬉しい。
- ・子どもたちと一緒に楽しく過ごし元気をもらえる。
- ・サポーターの仲間といろいろな情報交換でき、子育てに関する知識も増え、生活にも張り合いができた。
- ・参加者から「楽しかった、また来ます」「まだ帰りたくない!」という言葉、ひろばを卒業する時には「来て良かった」「こんなひろばがあって良かった」という言葉が聞かれた時、ひろばが楽しい遊びの場所となっていると感じ活動していて良かったと思う。
- ・下の子を出産してまた利用してもらえる時には、確実にこのひろばが地域の親子の居場所になっている事を感じ、活動していて良かったと思う。

## 【ワーク1とワーク2の参加者の意見や感想を紹介します】

皆様もママや子ども、サポーターのそれぞれの気持ちになって一緒に考えてみてください

### ◇ワーク1（参加者の意見や感想）

#### (1)場面① 親が「早く行くよ」と子どもを連れて行く

（手首を掴んでのパターンと手を繋ぐパターン）

- ・母親の立場だったら、イライラしている時は手首を掴んでしまうかもしれない。
- ・子どもは手をつないだ方が温かみを感じるだろうなと思った。
- ・手首を掴んだら強引に口調まできつくなる。手を繋ぐと優しい口調になる

#### (2)場面② 子どもを叱る時

（子どもの背の高さを考慮して椅子の上に立って叱るパターンと座って叱るパターン）

- ・高いところから見下げて叱ると命令口調になり、子ども目線に合わせるときつく頭ごなしにしかったりしないで、ソフトに優しい口調になる。
- ・上から目線で言われると怖いと感じた。座って目を合わせると親も子どもと一緒に片付けようね、という感じになった。

### ◇ワーク2（新聞記事の事例について、グループに分かれて意見を出し合う）

#### 【事例】

ママ42歳。赤ちゃんが上手く母乳を飲めず、産後20日で乳腺炎になりミルク缶に書いてある「母乳は最良の栄養です」という言葉に悩み、1ヶ月検診で産後うつの可能性があるとされた。だが、産後4ヶ月検診ではうつ傾向は見られなかった。このような場面で、2つの問いに答える。

#### 【問1】 1ヶ月検診から4ヶ月検診の間、ママにはどんなことがあったと考えられるか？

- ・検診の時保健師さんからミルクでもいいよというアドバイスをもらって、少しずつ落ち着いてきた。
- ・経験者からもミルクでもいいよと言われた。
- ・相談できる人ができた。家族や旦那さんの支えがあったから。周りの人の協力があり、心の余裕ができてきた。
- ・乳腺炎の治療を始めて体が落ち着いてきたから気持ちも落ち着いてきた。
- ・ネットで調べて、楽になるアドバイスがあった。
- ・赤ちゃんが成長してきて、初めの1ヶ月は大変だったが、4ヶ月ぐらいになってよく寝るようになって 落ち着いてきた。
- ・新生児のお母さんの相談窓口があれば良いなと思った。いつでも相談にのってくれる所があれば良いと思った。

#### 【問2】 仮にあなたは「母乳でなくちゃ、ミルクなんて絶対にありえへん」という考えだとします。そのようなあなたがママに相談されたらどのような言葉かけをしますか？

- ・なんとかして母乳を飲むよう、母乳マッサージや搾乳の方法をアドバイスする。
- ・保健師さんや医師に相談したら、とアドバイスする。
- ・私は母乳が良いと思うけど、事情もあるから仕方ないよね。
- ・ミルク缶に母乳のことが書かれていることを知らなかった。
- ・話をよく聞いて、母乳に拘っているのかいないのか、それならどうしたら良いか、一緒に考える。
- ・私は母乳に拘っているけど、母乳でもミルクでも成長していればいいのだから気にしないで、赤ちゃんが大きくなるのが大事なんじゃないかな、と伝える。
- ・ネットで、パパ「おっばいは手伝えないけど、ミルクなら手伝える。」と言われて救われた。という話を見た。周りの教育も大事と思った。

## 生活クラブ生協大阪の子育てひろば

どなたでも、申し込み無し無料で参加できます。  
是非、お近くの子育てひろばへ遊びにいらしてください！

5月23日に東大阪の子育てひろば「とことこ」がオープンします！

生活クラブ生協大阪のホームページ、Instagram「子育てひろばひらひら」「ぽらん\*ぽらん」、「クレードル」、facebook「生活クラブ生協大阪子育てひろば」でも子育てひろばの情報をお知らせいたします。

枚方「ひらひら」…毎月第1,3木曜日 10時～12時  
岡本町会館 京阪枚方市駅徒歩3分  
毎月第4木曜日 10時～12時  
居場所「よりみち」 京阪電車枚方市駅か香里園駅から  
京阪バス 香里ヶ丘十丁目すぐ

茨木「クレードル」…毎月第3火曜日 10時～12時30分  
玉櫛コミセン2階会議室4 阪急・モルル南茨木駅徒歩12分

高槻「ぽらん\*ぽらん」…毎月第4木曜日 10時～12時  
レンタルスペース「すみれ家」  
JR摂津富田駅徒歩1分、阪急富田駅徒歩5分

東大阪「とことこ」…毎月第4火曜日 10時30分～12時30分  
レンタルスペース「えがお」  
近鉄奈良線河内花園駅南口下車徒歩7分

子育てひろばサポーターを募集しています

一緒に楽しく活動しませんか？

6月中にサポーター募集のチラシを配布します！

ご覧になってください。